

成人向

白鷺日記

白百合の姫君

不似合氷菓

ふにあいあいす





秋麗

九月二十八日



本日は私の
誕生日です

誕生日くらいはと
お兄様からお暇を
いただき…。

とはいえ
普段社奉行の業務に
追われる日常に

出来た休暇で
何をしようかと
迷いつつ



木漏れ茶屋に
向かっておりました。

そうしたら
なんと



言葉通りゆっくりしようと

行く当てもなく
賑わう城下を散歩しながら

とりあえず
予定していた通り



蛍さんに
パイモンさん…う？
どうしてここに…

あ

おー綾華！

ちょうどいい時間に
来てくれたぜ

今日誕生日
だよな？

ご馳走を
用意したんだ
早く食べようぜ

私がね

太郎丸に頼んで
厨房借りたんだ

こっち座って



お誕生日
おめでとう

わあ…

ありがとう
ございます

フォンテーヌで
覚えた料理だよ



綾華どうしたの…

お腹空いてない…？

いえ…その…
嬉しすぎて

それになんだか
もったいない気がして…

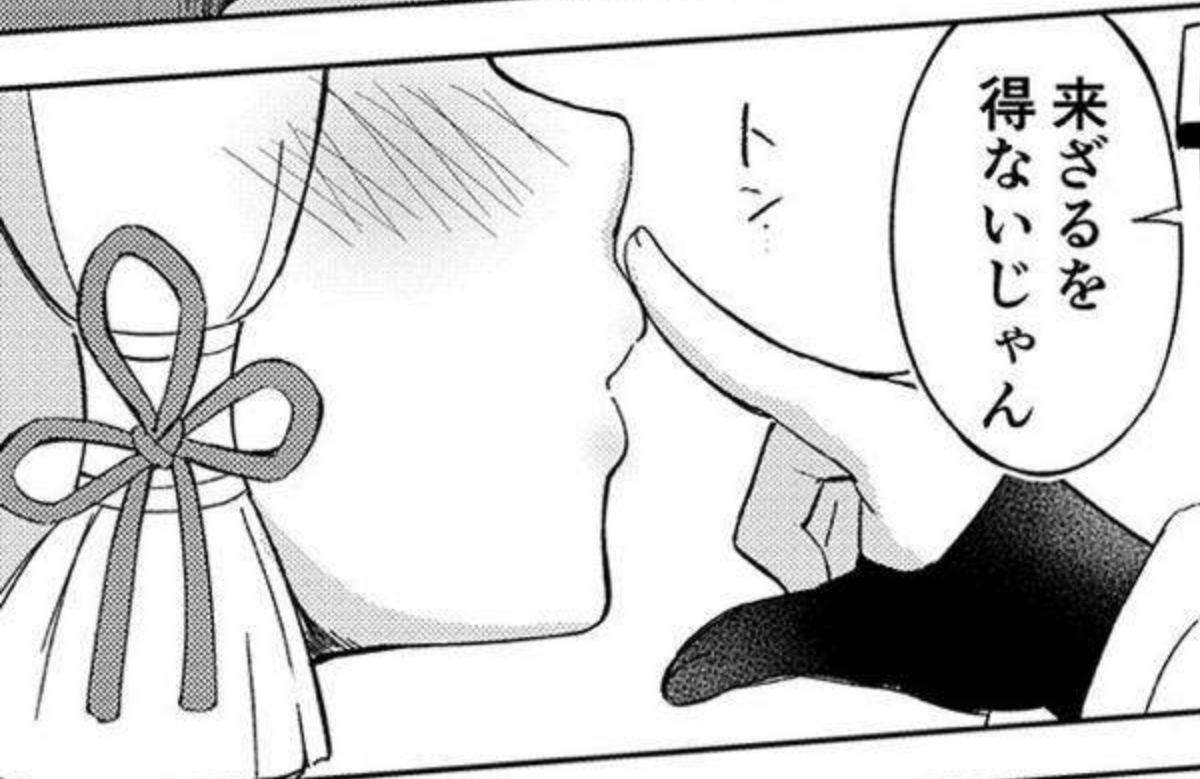
そんなの
食べてもらうために
作ったんだから
いくらでも食べてよ

はい
ではお言葉に
甘えて…





あんな手紙
貰っちゃったら



来ざるを
得ないじゃん

トン



蛍さん、
どうして来て
いただけたのですか？

改めて聞いても
よろしいでしょうか…

だって
私へのあつーい想いを
綴った手紙
くれたでしょ？



それとも綾華は私に
来てほしくなかった？

いえ…
とても嬉しいのです



じゃあ
そんなこと





ふん

あ

こんなえっちな服
だったなんて
知らなかったよ

綾華の服
鎧とったら
こんな風に
なってだったんだ

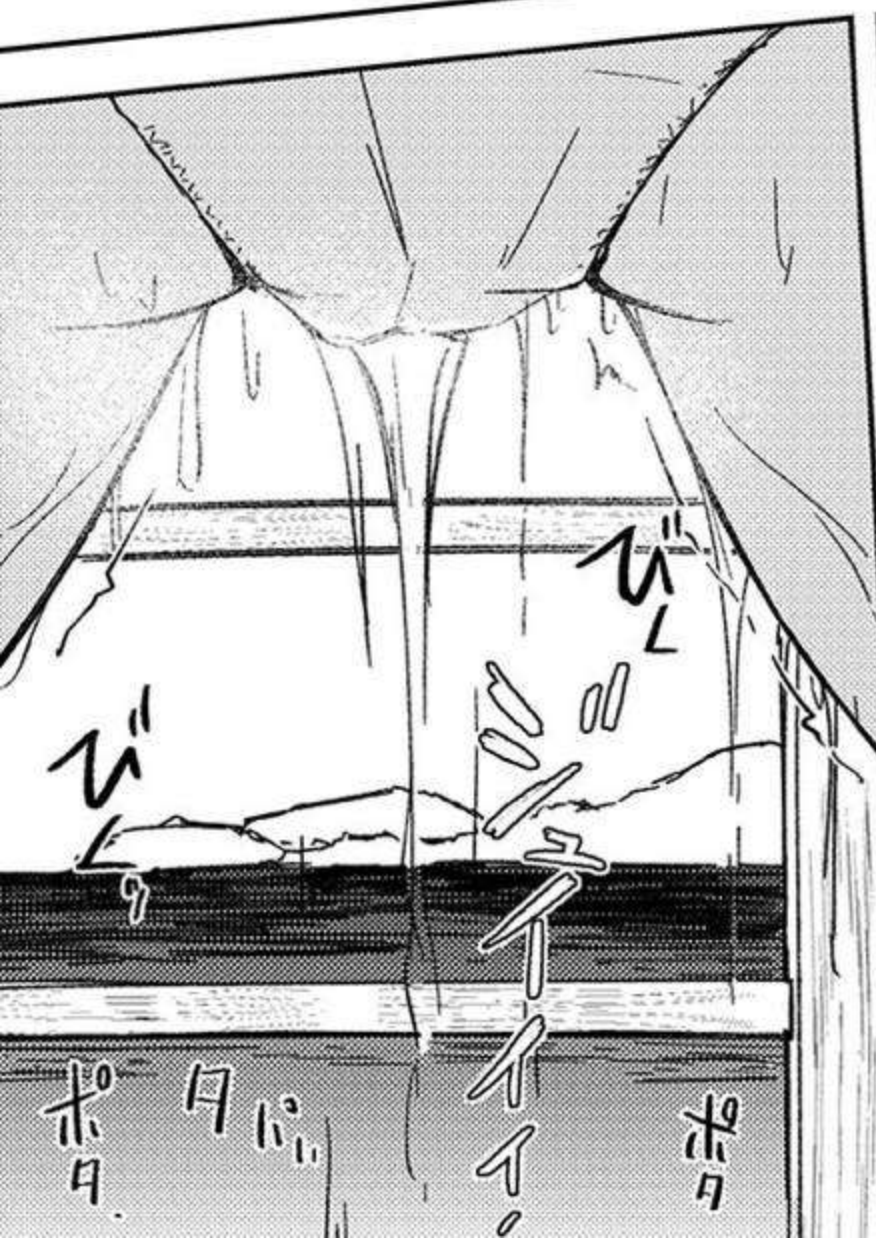
あ

控えめだけど
綺麗で柔らかくて
かわいいおっぱい

も

だ

た



こんな恥ずかしい
格好にさせられて

海の方からだ
綾華のおっぱい
丸見えだね

そんな...





……っ!?
!?!?!?!



おーい!!
蛍!!
綾華!!

どこに
いるんだー!!



鎧の中に料理が
入っちゃったって
洗ってたの

あと今夜は
綾華のところに
泊まるって話
してた

え……?



いえ……そんな
話は……

おー
ナイスアイディアだな
お泊り会ってやつだ!

ね?
いいでしょ? 綾華



……蛍さんが
来たいのであれば……



とうかなんで
綾華は上裸なんだ?

なんか地面も
濡れてるし……

いたいた!
なんでこんなところに
居るんだよ

オイラだけ仲間
外れにするなよ

いえこれはその……

蛍さん……



なにぶん屋敷の方に
友人が泊まりに
来ることはあるか

遊びに来た経験もさらに無く
粗相をしてしまわないか
心配ではありましたが

蛍さんが
作ってくれた
料理を
いただいた後は



少し人に言うには
憚られることも
てじまいました



城下を
散歩して
色々な方に会って
世間話等じつつ

日の沈む前に
二人の海外での
活躍を
お聞きしながら

屋敷への帰路に
つきました。



今年の誕生日はとて
充実したものになりました



料理や
屋敷の広いお風呂も
喜んでいただけ
とても安心しました
寝床は別でということ
で就寝するまでが
いるずとくは
なるものもしてみたく
はありましたが

願わくば来年も…

なーに書いてるの？
日記？

はい、今日は
蛍さんが誕生日を
祝ってくださったこと

街を散策したこと
書き綴っております

そうなんだ
毎日書いてるの？

はい

でも今日はいつもより
頁が多くなって
しまいました

あれ？

稲妻の服って
こんなところに穴
あいてるんだから

ってどこに
手を入れてるの
ですか…！

おっぱい揉むため
の物じゃないの…？

それに服は…

モミ



そんなの綾華と
こうするために

どうせ脱ぐし
着ても意味ないから

もう綾華の
身体触りたくて
仕方ないの



んっ♡

私を
楽しませてよね

お昼中途半端になって
ずっとムラムラ
してたんだから…



いきなりは
びっくりするじゃ
ないですか…!!

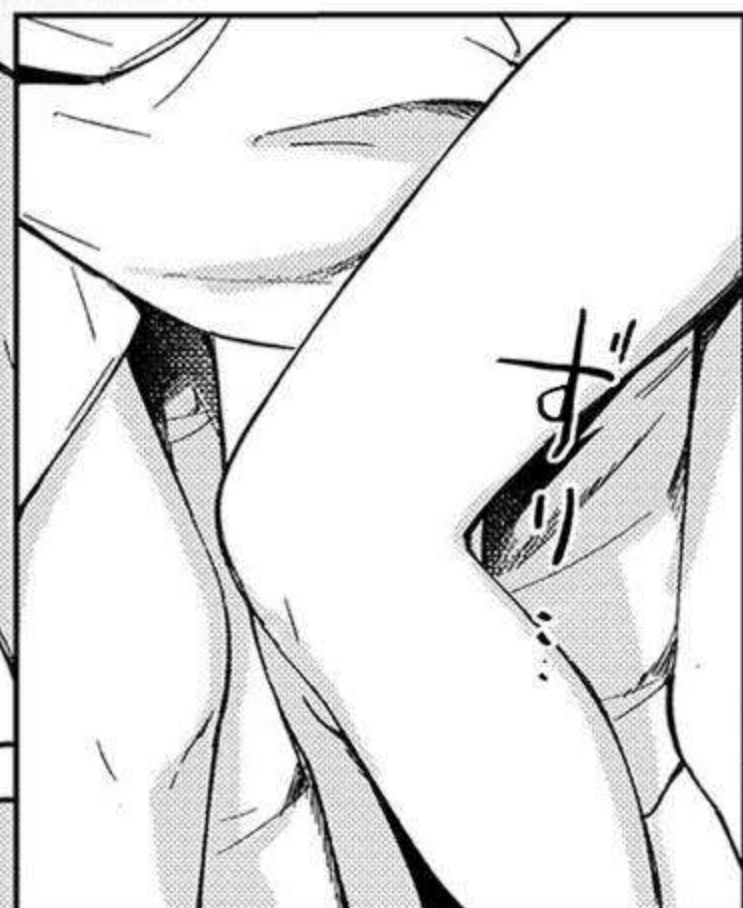
でもそんな…
パイモンさんは
どうなさったの
ですか?

そんなこと言って
綾華も期待
してたんでしょ?

日記に別の部屋で
読んでるって

疲れて寝ちゃった







こんな格好…!!
顔が近いです…

ちよつと
手で隠されたら
よく見えないじゃん

手どけてよ

うう…

その…
あまり広げて
じろじろ
見られると

いくら螢さんでも
恥ずかしいです…

ふふ
恥ずかしいの?
かわいい

それに美味しそうで
えっちなおまんこ

膣口がハートの形で
ひくひくしてるの

はぁ♡

く



派手にいったね
綾華

私の顔に潮
ぶっつけたのは
このおまんこかな？

ぺち

ぺち

すみま…
せん…

はー



蛍さんばかり
ズルいです…

私にも蛍さんのおまんこを舐めさせてください

びん



私だけ
気持ちよく
させられて…

私も蛍さんを
気持ちよくして
差し上げたいです

いいの？

じゃあ…

んっ

は

は

くはっ

大丈夫かな

汚くない？

そんなわけ
ありません…

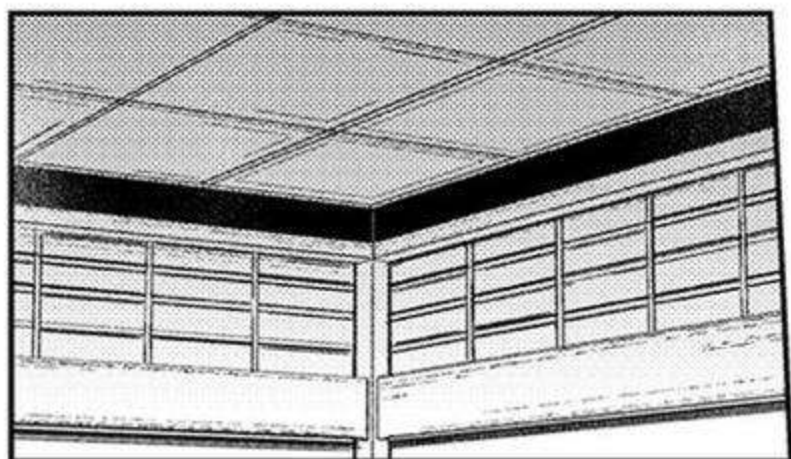
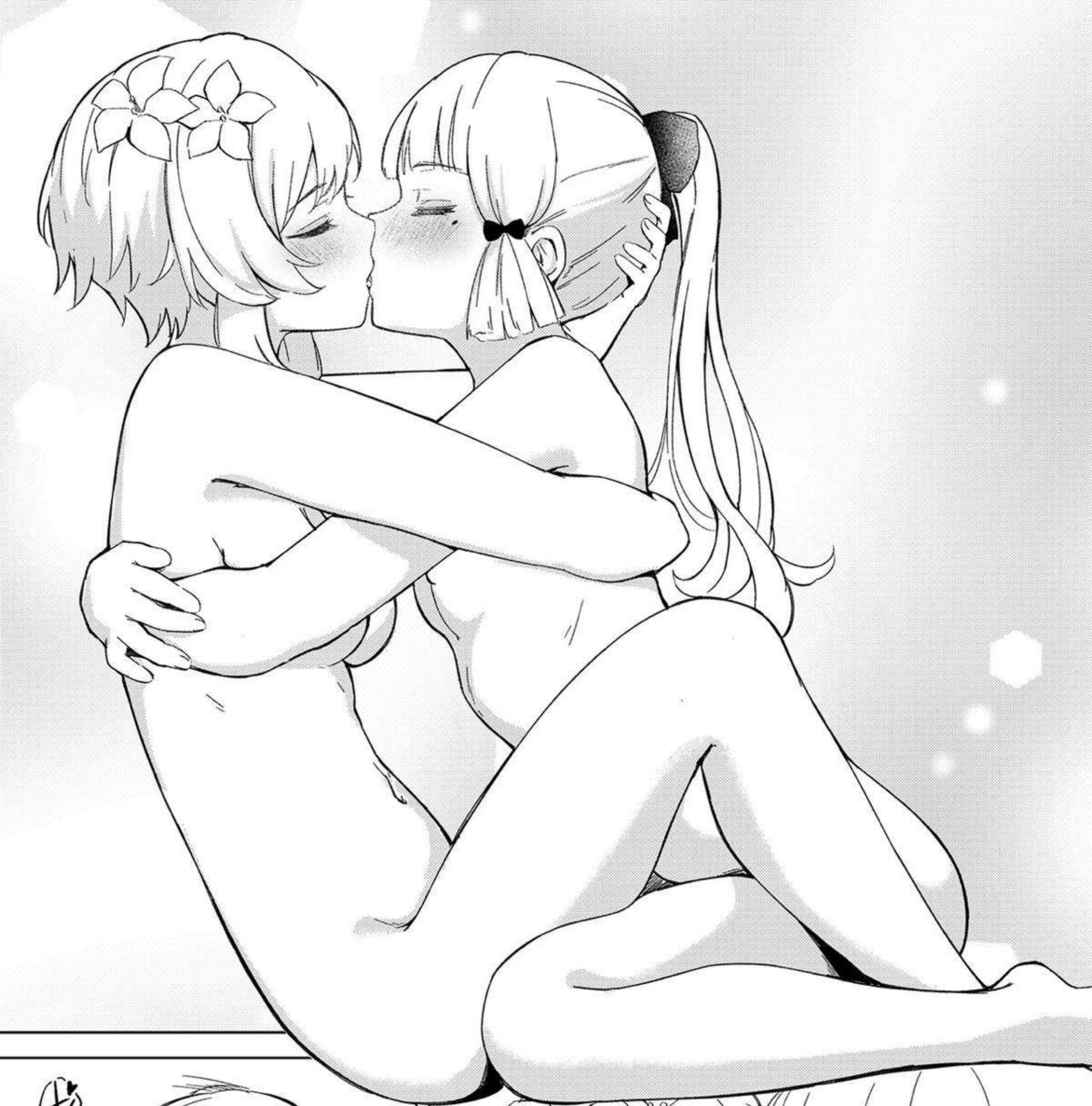
螢さんの身体に
汚いところなんて
ないです

すごく
淫靡です

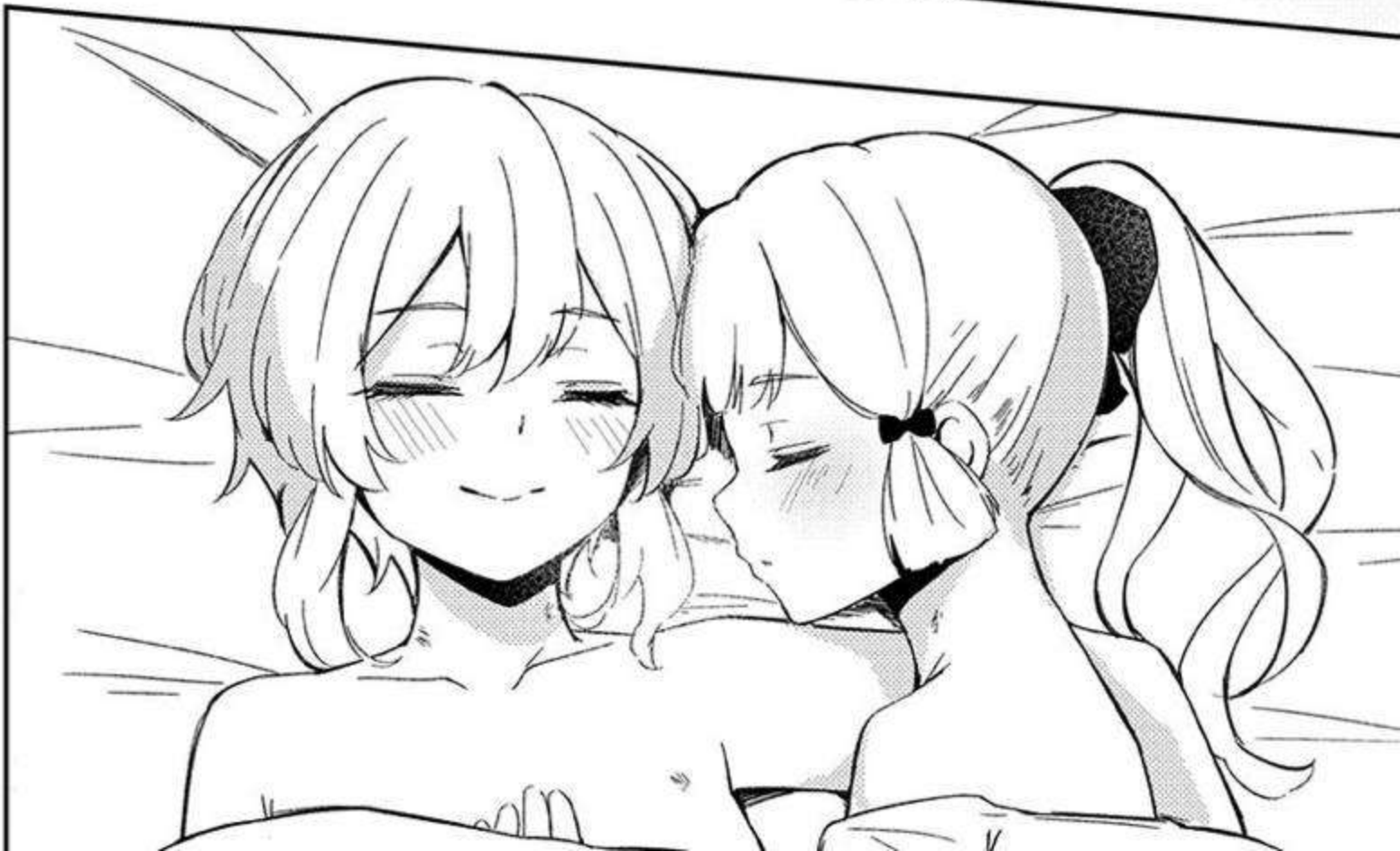
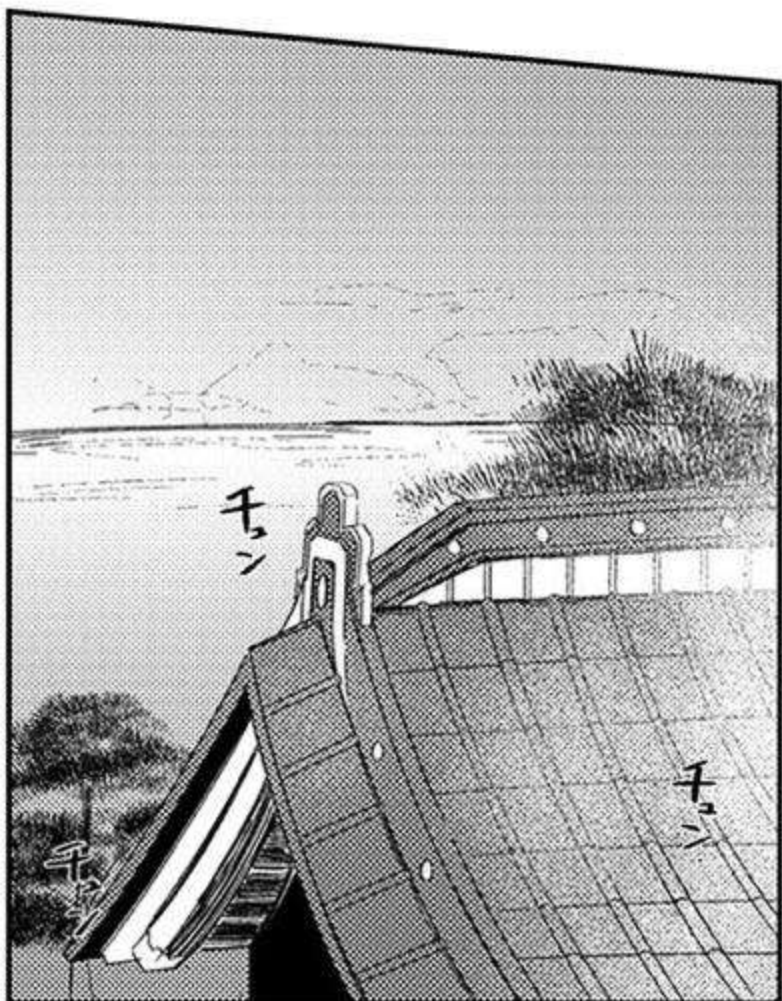
あんっ
自分のは汚いとか
言ってたのに

は

私と同じこと
言ってる











あとがき

おはこんばんちわ、不似合りこ∞です。
久しぶりに百合を描きました。
楽しかったです。

弊ワットの蛍ちゃんは各地に現地妻を抱えている
悪い女です。すぐ手が出ます。
ちなみにバイなので男でも女のも顔が良ければ
なんでもありの女です。

流石に蛍ちゃんもあんな怪文書もらってでは
綾華の元へ赴かざるを得ないでしょう。

そしてついでお兄様は隠れほたあや推しです。
万葉はカブ厨です。

白鷺日記
白百合の姫君

発行日：2024/08/11(COMIC MARKET104)

著 者：不似合りこ

発 行：ふにあいあいす

連絡先：narikov1000@gmail.com

印 刷：  **SUN GROUP**
http://www.sungroup.co.jp/



成人向

白鷺日記

しらさぎにっき

白百合の姫君

不似合氷菓
ふにあいあいす

